

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	市民提案型まちづくり事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	NPOやボランティアの持つ専門性、迅速性を生かして地域の課題解決を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	補助			
事業内容	市内で活動する団体が独自の発想を持って提案する事業で、協働のまちづくりと団体の育成、充実につながるものについて補助するもの。 ・〈補助対象者〉 ・営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所を有し活動する者 ・〈補助金の額〉 ・1事業あたり30万円を上限に、予算の範囲内で団体に補助する。			進捗状況 ・ 現状	書類審査、内容審査を経て交付を決定する。 【事業実績】 ※過去3年間 H28 提案 7 実施 5 H29 提案 6 実施 5 H30 提案 8 実施 6			
事業期間	平成30年度～令和2年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	8,727	千円	(うち市予算化分) 8,727	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	9,327	千円	9,327	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値		
糸島市で活動するNPO・ボランティア団体等	NPO・ボランティア団体等のスキルアップ・充実	活動指標	市民提案を実施した団体数(団体)	0	10	30		
		成果指標	市と市内で活動している市民団体で実施した協働事業数(事業)	0	8	24		

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金	1,254			1,254
	県支出金				0
	地方債				0
	その他	1,253			1,253
	一般財源(a)				0
事業費(A)		2,507	0	0	2,507
主な事業費内訳		補助金、審査委員謝礼			
従事職員数(人)		0.2			平均人件費 8,700
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%) 41.0
総コスト(A+B)		4,247	0	0	総コスト計 4,247
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法			50%
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例			

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	福岡マラソン実施事業				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	スポーツの振興と地域の活性化を図り、福岡・糸島地域一帯の魅力を高めることを目的に『福岡マラソン』を開催する。 併せて、大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRするため、糸島市独自の事業を展開する。				事業主体	福岡マラソン糸島協力会		
					実施方法	補助		
事業内容	福岡市都市部をスタートし、糸島市でフィニッシュする市民参加型フルマラソンを開催。大会開催に併せ、糸島市独自にイベントやおもてなしに関する事業を実施する。 ➢ 協力会事務局費；市内マラソン応援事業等の計画・運営を取り仕切る。 ➢ 沿道応援事業；コース沿道のランナー応援や応援バス運行等。 ➢ もてなし事業；フィニッシュ会場でランナーや応援者等に糸島産品等をPRする。				進捗状況・現状	福岡マラソン開催初年度(平成26年度)から実施 【沿道応援事業】 H28年度；12事業、H29年度；13事業 H30年度；12事業 【もてなし事業】 H28年度；37事業、H29年度；41事業 H30年度；42事業		
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	30,000	千円	(うち市予算化分) 30,000	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,000	千円	30,000	千円		10	5	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	まちづくりへの参加	活動指標	沿道応援事業数(件/年) もてなし事業数(件/年)		0	沿道；12 もてなし；42	沿道；15 もてなし；40	
		成果指標	沿道応援やもてなし事業に参加した市民の数(人/年)				0	1,101

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,400	1,400	1,400	4,200	
	一般財源(a)	8,600	8,600	8,600	25,800	
事業費(A)		10,000	10,000	10,000	30,000	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.1	0.1	0.1	平均人件費	8,700
人件費(B)		870	870	870	人件費割合(%)	8.0
総コスト(A+B)		10,870	10,870	10,870	総コスト計	32,610
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
その他	福岡都市圏地域共同事業補助金	地域共同事業実施要綱				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	聖火リレーにボランティアや観覧で参加することにより、まちづくり参加の意識高揚を図る。また、事業そのものがレガシーとなり市民の市への愛郷心の一つとなることを目的とする。 併せて、スポーツに対する機運の高まりが図れ、「見る、支える」スポーツの推進を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	東京2020オリンピックに係る聖火リレーを糸島市で実施する。実施にあたっては、ボランティア等を活かし行う。 ・聖火リレー距離;約1km ※総事業費に対し、県と市で1/2ずつ負担。令和2年度に県へ負担金を納付する。			進捗状況・現状	令和2年7月から「東京2020オリンピック」が開催されるにあたり、5月に福岡県で聖火リレーが行われる。		
事業期間	令和2年度(1年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	12,910	千円	(うち市予算化分) 6,455 千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	- 千円		10	5	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	オリンピックに参加したい	活動指標	聖火リレー実施(回)	0	1	1	
		成果指標	聖火リレーに参加した市民の数(人)	0	800	800	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金	(6,455)			(6,455)	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	6,455			6,455	
事業費(A)		(6,455) 6,455	0	0	(6,455) 6,455	
主な事業費内訳		負担金				
従事職員数(人)		0.5	0	0	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	0	0	人件費割合(%)	40.3
総コスト(A+B)		10,805	0	0	総コスト計	10,805
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	②地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	子育て支援プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	広域連携プロジェクト事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	福岡県が設定する広域地域振興圏の一つである糸島地域において、県と市が協働して広域連携プロジェクトを策定・推進し、糸島地域の振興に寄与することを目的とする。				事業主体	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議		
					実施方法	負担金		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●糸島の未来の人材を創る「いとしま学」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・糸島を学ぶ「いとしま学チャレンジ教室」 ・「いとしま学」講座 ・「いとしま学」副読本改訂検討会 ●糸島地域農業振興プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・糸島農業高校との連携事業(生徒とともに学ぶ「糸農講座」) ・中村学園大学・短期大学部との連携事業(耕作放棄地プロジェクト) ・糸島農業PR事業 				進捗状況 ・ 現状	H30年度は以下の事業を実施 ・「未来のいとしま学」チャレンジ教室 ・「いとしま学体験プログラム」 ・地域内親子イベント「いとしまハテナ博」 ・「いとしま学」副読本改訂検討会 ・生徒とともに学ぶ「糸農講座」 ・中村学園大学・短期大学部との連携 >耕作放棄地再生プロジェクト >直売所ガイドマップ作成		
事業期間	平成27年度～令和2年度(6年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	39,128	千円	(うち市予算化分) 19,564	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,276	千円	15,138	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	糸島市が持つ魅力の広域的な発信	活動指標	プロジェクト数(件)		2	3	3	
		成果指標	実施事業数(件)		5	6	6	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	2,213			2,213	
	県支出金	(4,426)			0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	2,213			2,213	
事業費(A)		(4,426) 4,426	0	0	(4,426) 4,426	
主な事業費内訳		負担金				
従事職員数(人)		0.1			平均人件費	8,700
人件費(B)		870	0	0	人件費割合(%)	16.4
総コスト(A+B)		5,296	0	0	総コスト計	5,296
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法			50%	
県支出金	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議負担金	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議規約			50%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	②地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	市民まつり事業				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	市民総参加による「市民が主役」の糸島市民まつりを開催し、その振興を図ることによって、地域活性化、一体感の醸成、市を広くPRすることを目的とする。				事業主体	糸島市民まつり振興会			
					実施方法	補助			
事業内容	糸島市の持つ人と地の「力」を最大限に発揮し、市民ボランティアと市職員等が協働でイベントの企画・運営を行う。 <主な内容> >メイン会場(交流プラザ志摩館前特設会場) ・糸島グルメグランプリ、野外ステージ、27時間連続餅つき、よかもん物産展、わんぱく広場、公共ブース設置等 >加布里漁港 花火会場 ・花火大会 約4000発打ち上げ				進捗状況・現状	【来場者の推移】 平成27年度 70,000人 平成28年度 60,000人 平成29年度 65,000人 平成30年度 台風接近に伴い中止 市を代表する「まつり」として内外に認知されており、来場者数も高い水準で安定して推移している。			
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	27,000	千円	(うち市予算化分)	27,000	千円	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,000	千円		30,000	千円	2	1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民	地域の活性化・市民の一体感の醸成	活動指標	市民まつりに参加した市民団体等の出店数・出演数(団体)			104	110	120	
		成果指標	来場者数(人)			65,000	70,000	75,000	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	9,000	9,000	9,000	27,000	
事業費(A)		9,000	9,000	9,000	27,000	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	16.2
総コスト(A+B)		10,740	10,740	10,740	総コスト計	32,220
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	②地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	行政区等公民館及び児童遊園地施設等補助事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	行政区等が実施する公民館等の整備等に対し、補助金を交付することで、地域拠点の整備と地域コミュニティ活動の活性化を図ることを目的とする。				事業主体	各行政区		
					実施方法	補助		
事業内容	行政区等が設置し、管理する公民館の建設等及び児童遊園地の施設整備、当該用地の購入、付帯する備品の購入に対し、補助金を交付する。 ・行政区公民館 事業費の25%補助(限度額500万円) ・隣組公民館 事業費の20%補助(限度額400万円) ・児童遊園地 事業費の25%補助(限度額 45万円) ※補助対象事業費100万円以上				進捗状況 ・ 現状	【交付実績】 ※過去3年間		
						H29(11件) 17,535千円 H30(7件) 4,647千円 H31(10件) ※予算額 15,878千円		
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	34,342	千円	(うち市予算化分)	34,342	予算科目	款	項	目
				千円		2	1	16
昨年度の実施計画に計上した総事業費	35,478	千円		35,478	千円			
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	地域コミュニティの充実	活動指標	行政区等公民館建設・改修件数(件)		74	92	163	
		成果指標	行政区等公民館利用者の満足度(%)		71.4	73	75	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	14,342	10,000	10,000	34,342	
事業費(A)		14,342	10,000	10,000	34,342	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	13.2
総コスト(A+B)		16,082	11,740	11,740	総コスト計	39,562
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	③いとしま共創プラン（小学校区を核とした地域主体のまちづくり）を推進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	校区まちづくり推進事業				担当部課	企画部	地域振興課			
事業目的	地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図るために実施するもの。				事業主体	小学校通学区域ごとの自治組織				
					実施方法	補助				
事業内容	各校区でまちづくり計画(共創プラン)を策定し、この計画も基づき行われる事業のうち、継続性・発展性があるもの、校区の課題解決につながるもの、魅力ある資源や人材を活用するものに対し、人的・財政的支援を行う。 >15校区への財政的支援 ・補助率100%(ただし、備品購入費については90%、補助金の限度額の2分の1以内) ・補助金の額は、前年度3月末時点での人口数に応じて、100万、110万、120万円				進捗状況 ・ 現状	・H22～校区まちづくり事業開始 ・H26～校区単位の実践活動へ改正 ・H30は、各校区上限100万円補助を実施(1年間の暫定措置)、校区まちづくり計画を改訂 ・H31～ソフト事業の更なる推進を図るため、交付規程を改正				
事業期間	令和2年度～令和3年度(2年間)				会計種類	一般会計				
総事業費	32,600	千円	(うち市予算化分)	32,600	千円	予算科目	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	48,900	千円		48,900	千円		2	1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値			
市民	地域コミュニティの強化	活動指標	地域団体等が行う実施事業数(事業)			0	15	45		
		成果指標	地域の行事へ参加している割合(%)			0	29.8	50		

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	8,150	8,150		16,300	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	8,150	8,150		16,300	
事業費(A)		16,300	16,300	0	32,600	
主な事業費内訳		補助金	補助金			
従事職員数(人)		0.3	0.3		平均人件費	8,700
人件費(B)		2,610	2,610	0	人件費割合(%)	13.8
総コスト(A+B)		18,910	18,910	0	総コスト計	37,820
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法			50%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑤生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	怡土コミュニティセンター大規模改修事業		担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	怡土コミュニティセンターの大規模改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設提供を行う。併せて、施設の長寿命化を図る。		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	大規模改修を実施し、施設の長寿命化を図る。 改修事業の内容として、 ①施設の屋根や外壁の防水工事、 ②内装改修工事 ③電気設備、空調設備等の付帯設備の改修工事 ④バリアフリー(エレベータ設置等)対応改修工事などを行う。		進捗状況・現状	怡土公民館は建築から32年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。コミュニティセンターは、校区まちづくり、生涯学習の拠点施設であるとともに、避難所でもあることから、利用者への快適な施設提供が求められる。		
事業期間	令和3年度～令和4年度(2年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	56,582	千円	(うち市予算化分)	56,582	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円		
予算科目	10	4	3			
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	怡土コミュニティセンター大規模改修実施	1	1	1
		成果指標	怡土コミュニティセンター大規模改修完了	0	0	1

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債		2,400		2,400	
	その他				0	
	一般財源(a)		319	53,863	54,182	
事業費(A)		0	2,719	53,863	56,582	
主な事業費内訳			設計業務委託料	建設工事費		
従事職員数(人)			0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	1,740	1,740	人件費割合(%)	5.8
総コスト(A+B)		0	4,459	55,603	総コスト計	60,062
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
地方債	公共施設等適正管理推進事業債	地方債等同意基準運用要綱 (充当率 90%)			41%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑤生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	引津コミュニティセンター大規模改修事業			担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	引津コミュニティセンターの大規模改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設提供を行う。併せて、施設の長寿命化を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	大規模改修を実施し、施設の長寿命化を図る。 改修事業の内容として、 ①施設の屋根や外壁の防水工事、 ②内装改修工事 ③電気設備、空調設備等の付帯設備の改修工事 ④バリアフリー対応改修工事 などを行う。			進捗状況 ・ 現状	引津公民館は建築から28年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。コミュニティセンターは、校区まちづくり、生涯学習の拠点施設であるとともに、避難所でもあることから、利用者への快適な施設提供が求められる。		
事業期間	令和3年度～令和4年度(2年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	71,732	千円	(うち市予算化分) 71,732	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	引津コミュニティセンター大規模改修実施	1	1	1	
		成果指標	引津コミュニティセンター大規模改修完了	0	0	1	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債		3,000		3,000	
	その他				0	
	一般財源(a)		416	68,316	68,732	
事業費(A)		0	3,416	68,316	71,732	
主な事業費内訳			設計業務委託料	建設工事費		
従事職員数(人)			0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	1,740	1,740	人件費割合(%)	4.6
総コスト(A+B)		0	5,156	70,056	総コスト計	75,212
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
地方債	公共施設等適正管理推進事業債	地方債等同意基準運用要綱 (充当率 90%)			41%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑤生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	雷山コミュニティセンター大規模改修事業			担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	雷山コミュニティセンターの大規模改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設提供を行う。併せて、施設の長寿命化を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	大規模改修を実施し、施設の長寿命化を図る。 改修事業の内容として、 ①施設の屋根や外壁の防水工事、 ②内装改修工事 ③電気設備、空調設備等の付帯設備の改修工事 ④バリアフリー(エレベータ設置等)対応改修工事などを行う。			進捗状況・現状	雷山公民館は建築から25年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。コミュニティセンターは、校区まちづくり、生涯学習の拠点施設であるとともに、避難所でもあることから、利用者への快適な施設提供が求められる。		
事業期間	令和4年度～令和5年度(2年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	74,856	千円	(うち市予算化分) 74,856	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	雷山コミュニティセンター大規模改修実施	1	1	1	
		成果指標	雷山コミュニティセンター大規模改修完了	0	0	1	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)			3,589	3,589	
事業費(A)		0	0	3,589	3,589	
主な事業費内訳				設計業務委託料		
従事職員数(人)				0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	0	1,740	人件費割合(%)	32.7
総コスト(A+B)		0	0	5,329	総コスト計	5,329
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑤生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	前原南コミュニティセンター整備事業		担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	前原南校区における人口増加に対応し、避難所等の防災機能を有した、新しい前原南コミュニティセンターに建替える。		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	前原南コミュニティセンター建替えに係る、設計業務委託、解体工事設計委託、解体工事、代替コミュニティセンター整備、監理業務委託、建設工事等を行い、令和4年度開館を行う。		進捗状況・現状	前原南公民館は平成30年度に建替えが決定されたため、令和4年の開館に向けて、令和元年は地域要望を取りまとめ、令和2年に実施設計、解体設計、代替コミュニティセンター準備を行い、令和3年に解体工事及び建設工事を実施する。		
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	390,186	千円	(うち市予算化分)	390,186	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円		-	千円	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値
施設利用者	まちづくり及び防災拠点施設	活動指標	前原南コミュニティセンター建替え工事実施	0	1	1
		成果指標	前原南コミュニティセンター建替え工事完了	0	0	1

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金				0
	県支出金				0
	地方債	21,100	286,100		307,200
	その他				0
	一般財源(a)	9,239	65,190	8,557	82,986
事業費(A)		30,339	351,290	8,557	390,186
主な事業費内訳		設計監理費	建設工事費	備品購入費	
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費 8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%) 1.3
総コスト(A+B)		32,079	353,030	10,297	総コスト計 395,406
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
地方債	合併推進債	合併特例事業推進要綱 (充当率 90%)			40%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	運動公園整備事業		担当部課	企画部	経営戦略課	
事業目的	運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。 また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。		事業主体	糸島市		
			実施方法	その他		
事業内容	≪導入機能・規模≫ ・場所: 雷山運動広場及びその周辺 ・面積: 約58,000㎡ ・施設: 多目的体育館(約7,200㎡)、広場、屋外運動施設、駐車場等 ・機能: 運動機能、交流機能、防災機能 ≪整備手法・整備費用≫ ・整備手法: 設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」		進捗状況 ・ 現状	・H29年度: 「糸島市運動公園等整備計画」の決定 ・H30年度: 実施方針・要求水準書(案)の決定、地質調査・事前測量、不動産鑑定 ・令和元年度: 用地取得、要求水準書の決定、DBO事業の入札		
事業期間	平成30年度～令和5年度(6年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	5,053,902	千円	(うち市予算化分)	5,053,902	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	4,965,490	千円		4,965,490	千円	
			予算科目	款	項	目
				2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値
市民	運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を利用できること	活動指標	運動公園整備事業の進捗率(%)	4	7	100
		成果指標	運動施設の利用者数(人)	—	—	—

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金		198,050	264,060	462,110
	県支出金				0
	地方債	130,900	1,483,300	1,633,800	3,248,000
	その他				0
	一般財源(a)	14,863	165,753	182,337	362,953
事業費(A)		145,763	1,847,103	2,080,197	4,073,063
主な事業費内訳		調査業務委託費 設計業務委託費	設計業務委託費 工事監理業務委託費 建設費	工事監理業務委託費 建設費	
従事職員数(人)		3	3	3	平均人件費 8,700
人件費(B)		26,100	26,100	26,100	人件費割合(%) 1.9
総コスト(A+B)		171,863	1,873,203	2,106,297	総コスト計 4,151,363
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	社会資本整備総合交付金交付要綱			50%
地方債	合併推進債	合併特例事業推進要綱		(充当率90%)	40%
地方債	合併推進債	合併特例事業推進要綱		(充当率90%)	50%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	スポーツチャレンジ事業(ヤングシニア生きいき分)				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	スポーツを始めるきっかけづくり及びスポーツ習慣や健康志向の定着を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの日本開催をひかえ、全国的にスポーツ振興の機運が高まっている。 本市においてもこれらを契機に、スポーツ推進委員と連携等し、スポーツ振興を図る。 ①一流アスリートによるスポーツ教室(講演や指導)の実施 ②スポーツ、ニュースポーツ指導等の拡充 ③スポーツを始めるきっかけとなる体験教室等の実施				進捗状況・現状	現在、何らかの運動を行っている市民は3人に1人の割合。何らかの運動を行いたいとの意識はあるが、きっかけがない状況にある。 【平成29年度事業】 ・トップアスリート講演会;1回 ・ニュースポーツ指導等;延16回 ・体験教室等;延5回 【平成30年度】 ・トップアスリート講演会;1回 ・ニュースポーツ指導等;延19回 ・体験教室等;延5回		
事業期間	平成29年度～令和2年度(4年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	10,520	千円	(うち市予算化分)	10,520	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	10,520	千円	10,520	千円	予算科目	10	5	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	スポーツをしたい健康になりたい	活動指標	スポーツ事業実施回数(回/年)		1	25	25	
		成果指標	日頃からスポーツに親しんでいる人の割合(%)		25	27.1	33.3	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金	1,302			1,302
	県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源(a)	1,303			1,303
事業費(A)		2,605	0	0	2,605
主な事業費内訳		報酬、報償費、委託料、需用費			
従事職員数(人)		0.5			平均人件費 8,700
人件費(B)		4,350	0	0	人件費割合(%) 62.5
総コスト(A+B)		6,955	0	0	総コスト計 6,955
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫支出金	地方創生推進交付金	地方再生法			50%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	⑦スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	体育施設改修整備事業			担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	体育施設の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増進を促すなどスポーツ振興を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	体育施設の危険箇所等の改修を計画的に行う。 [令和2年度] ・芥屋野球場外野防球ネット設置工事 ・しおさい運動場防球ネット改修 [令和3年度] ・曲り田野球場外野芝撤去工事 ・トイレ一部洋式化 [令和4年度] ・曾根野球場トイレ下水化工事			進捗状況・現状	[平成29年度] ・曾根野球場防球ネット設置(一塁側) ・深江テニスコートコート面改修 [平成30年度] ・志摩体育館天井改修工事 ・芥屋野球場防球ネット設置工事(三塁側) [令和元年度] ・芥屋野球場防球ネット設置工事(一塁側) ・芥屋野球場トイレ設置、グラウンド改修 ・志摩体育館アリーナ改修			
事業期間	平成29年度～令和3年度(5年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	156,297	千円	(うち市予算化分) 156,297	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	134,278	千円	134,278	千円		10	5	2
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値		
体育施設利用者	安全に体育施設を利用したい 快適に体育施設を利用したい	活動指標	改修した体育施設数(施設)	0	5	7		
		成果指標	体育施設利用者数(人)	136,324	170,000	180,000		

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金				0
	県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源(a)	16,319	7,500	5,000	28,819
事業費(A)		16,319	7,500	5,000	28,819
主な事業費内訳		工事請負費	工事請負費		
従事職員数(人)		0.2	0.2		平均人件費 8,700
人件費(B)		1,740	1,740	0	人件費割合(%) 10.8
総コスト(A+B)		18,059	9,240	5,000	総コスト計 32,299
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(3) 人権・同和教育の推進
施策	⑧人権問題解決のための啓発活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	人権擁護推進事業(性的マイノリティ支援事業)			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課	
事業目的	市では、「人権教育・啓発基本指針」(平成23年3月策定)にて、性的マイノリティ(少数者)の人権を含めた「偏見や差別を解消するため、市民への正しい知識の普及啓発に努めるとともに、必要に応じ関係団体等と連携して教育・啓発を推進する。」に基づき、市民に対し多様な性への理解を深めることを目的とする。			事業主体	糸島市		
				実施方法	一部委託		
事業内容	性的マイノリティに関する研修で、啓発と理解促進を深める。 ・研修会での啓発 社会・人権同和教育指導員による各校区、行政区及び企業の研修会にて啓発リーフレットを用いて研修を行う。 ・相談窓口の紹介 市が委託した相談窓口を当事者へ紹介し、課題解決に繋げる。 ・パートナーシップ制度制定に係る準備 先進自治体への視察を行い、手法、課題等を整理する。また、現状の把握のため、専門書を購入する。			進捗状況・現状	進捗状況 性的マイノリティは、民間の調査で人口の3%~8%と推計されている。令和元年度は、当該事業初年度であり、性的マイノリティに関する情報を広めるため、広報誌での特集、当事者を講師に招き市民講演会を実施。並行して、市民への啓発リーフレットを配布している。また、職員ハンドブックを作成し、職員研修を実施した。その他、校区や行政区での研修会、企業での研修会を行っている。		
事業期間	令和2年度～令和3年度(2年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	1,640	千円	(うち市予算化分) 1,640 千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	2,442	千円	2,442 千円		3	1	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
性的マイノリティの市民	人権の尊重	活動指標	各種研修会の参加人数(人)	718	760	800	
		成果指標	研修会参加者の理解の割合(%) (研修会のアンケートにて推計する)	89	92	95	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金				0
	県支出金	634	610		1,244
	地方債				0
	その他				0
	一般財源(a)	226	170		396
事業費(A)		860	780	0	1,640
主な事業費内訳		報償費、役務費、旅費、委託料、需用費、使用料	報償費、役務費、旅費、委託料、需用費、使用料		
従事職員数(人)		0.8	0.6		平均人件費 8,700
人件費(B)		6,960	5,220	0	人件費割合(%) 88.1
総コスト(A+B)		7,820	6,000	0	総コスト計 13,820
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
県支出金	人権啓発活動地方委託事業	福岡県人権啓発活動再委託要綱			100%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(4) 男女共同参画の推進
施策	⑨あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	しごとづくりプロジェクト

【事業の内容について】

事業名	女性が輝くミライ事業				担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課		
事業目的	市長公約(市民協働と男女共同参画のまちづくり)に基づき、男女共同参画社会の推進に必要な知識や理解を若いときから深めてもらい、女性を含め、全ての人が個性や能力を発揮し、安心して暮らせるまちづくりを推進する。				事業主体	糸島市			
					実施方法	一部委託			
事業内容	<p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 若年者向けの啓発冊子を作成し、市内小・中学校に配布する。</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 市内小学校や中学校、高校等に出向き、ジェンダーの視点や、働くことの意味を考える機会を提供する。</p> <p>【女性が輝く啓発事業】 女性を取り巻く環境やDV防止を講演等を開催し、啓発する。 ・6月 みなづきフォーラム ・11月 DV防止フォーラム</p> <p>【女性の再就職支援事業】 資格取得講座を開催(委託)し、再就職や就業継続に向け希望する女性を支援。</p>				進捗状況・現状	<p>●(平成29年度から事業開始。) 平成30年度実績</p> <p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 (市内中学校に配布):3,200冊</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 ・開催回数:17回 ・受講者:1,725人</p> <p>【女性が輝く啓発事業】 ・みなづきフォーラムの開催 ・参加者:147人</p> <p>【女性の再就職支援事業】 ・支援講座24回開催 ・受講者:269人(延べ)</p>			
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	9,020	千円	(うち市予算化分)	9,020	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	4,694	千円		4,694	千円		2	1	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民(子ども)	市民の意識向上	活動指標	キャリア教育受講者数(人)		962	1,000	3,000		
		成果指標	受講後アンケートの満足度(%)		0	70	75		

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金	2,051	1,279		3,330
	県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源(a)	2,051	1,280	2,359	5,690
事業費(A)		4,102	2,559	2,359	9,020
主な事業費内訳		報償費・委託料・役務費	報償費・委託料・役務費	報償費・委託料・役務費	
従事職員数(人)		0.3	0.3	0.3	平均人件費 8,700
人件費(B)		2,610	2,610	2,610	人件費割合(%) 46.5
総コスト(A+B)		6,712	5,169	4,969	総コスト計 16,850
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法			50%

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(4) 男女共同参画の推進
施策	⑨あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	自治会の男女共同参画促進事業				担当部課	人権福祉部 人権・男女共同参画推進課		
事業目的	積極的改善措置として、校区・行政区自治会役員の「女性登用」を応援すること。 根拠は、糸島市男女共同参画社会推進条例第7条。				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	男女共同参画社会基本法制定20周年を契機に、市独自の新たな啓発事業を展開する。 ①行政区の女性登用調査の結果を踏まえた「自治会の男女共同参画啓発冊子」を作成。 ②校区単位の男女共同参画講演会を開催。啓発冊子配付。 ③各校区・行政区の規約等に男女共同参画(役員の女性登用)の推進規定を設けることを個別に支援する。				進捗状況 ・ 現状	平成21年の女性行政区長は3人 平成26年の女性行政区長は5人 平成30年の女性行政区長は4人 令和元年 ・啓発冊子作成・校区代表者会議にて冊子の配布および講演会の説明済 ・本年度5校区講演会予定		
事業期間	令和元年度～令和3年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	2,472	千円	(うち市予算化分) 2,472	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	2,472	千円	2,472	千円		2	1	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民(子ども)	①男女の役割分担意識の排除②まちづくりに対する女性の意思の反映	活動指標	啓発冊子の配布数(冊)		0	4,400	5,000	
		成果指標	規約等の改正自治会数(件)		0	6	10	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	282	282		564	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	282	282		564	
事業費(A)		564	564	0	1,128	
主な事業費内訳		報償費	報償費			
従事職員数(人)		0.8	0.8		平均人件費	8,700
人件費(B)		6,960	6,960	0	人件費割合(%)	92.5
総コスト(A+B)		7,524	7,524	0	総コスト計	15,048
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	国宝、重要文化財保存事業(市内遺跡発掘調査等)		担当部課	教育部	文化課	
事業目的	①重要遺跡の内容確認を目的として、泊大塚古墳群、国史跡怡土城跡など、市内遺跡の発掘調査を実施する。 ②個人住宅建築に先立つ発掘調査費用を公費負担にて実施する。 ③重要遺物の恒久的な保存と活用を目的として、出土品の保存処理を行う。		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	①については、近年の豪雨災害等により遺跡や古墳が崩壊し、近隣住民の生活を脅かす事態が発生している。そこで、平成30年度から泊大塚古墳群、令和元年度からは並行して国史跡怡土城跡の発掘調査に着手しており、3～5年をかけて遺跡の内容を確認する予定としている。②については、個人住宅の建築に先立ち、遺跡が破壊を受ける場合に、発掘調査費用を公費負担とするものである。③については、過去の発掘調査により出土した遺物を重要度や劣化具合などから判断し、緊急性の高いものから順次、保存処理を実施するものである。		進捗状況・現状	平成30年度の豪雨災害で、泊大塚古墳では東側法面崩壊、怡土城跡の土塁前面では一般住宅に浸水被害が発生した。平成30年度～令和元年度にかけて泊大塚古墳では法面崩壊部分と周辺の発掘調査、令和元年度に怡土城跡では浸水被害の原因箇所の発掘調査を実施した。		
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	24,000	千円	(うち市予算化分)	24,000	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	801,496	千円		801,496	千円	
			予算科目	10	4	
				5		
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値
市民、文化財愛好者	重要遺跡の実態の解明、住民の生活の安全を図る、個人住宅建設費用の軽減	活動指標	重要遺跡の調査報告書(冊)	8	0	9
		成果指標	国史跡指定の新規又は追加指定件数(件)	8	0	9

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000	4,000	12,000	
	県支出金	300	300	300	900	
	地方債				0	
	その他	3,700			3,700	
	一般財源(a)		3,700	3,700	7,400	
事業費(A)		8,000	8,000	8,000	24,000	
主な事業費内訳		賃金、委託料、使用料及び賃借料	賃金、委託料、使用料及び賃借料、印刷製本費	賃金、委託料、使用料及び賃借料		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%)	35.2
総コスト(A+B)		12,350	12,350	12,350	総コスト計	37,050
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱			50%	
県支出金	福岡県文化財保護事業補助金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱			15% (限度額300千円)	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	文化財保存整備事業(新町支石墓群)		担当部課	教育部	文化課						
事業目的	国史跡新町支石墓群の整備を実施し、活用を図る。国史跡は保存するだけでなく、市民生活への活用が求められる。用地の取得が完了し、整備に関する条件が整った新町支石墓群の史跡公園整備事業を実施する。		事業主体	糸島市							
			実施方法	直営							
事業内容	令和3年度に事業に着手し、令和7年度に完了する。事業期間は5年である。 ・令和3年度 整備基本計画策定 ・令和4年度 整備工事基本設計 ・令和5年度 整備工事実施設計 ・令和6、令和7年度 史跡公園整備工事		進捗状況 ・ 現状	新町支石墓群は平成28年度に史跡用地の公有化が完了している。令和元年度には支石墓群の保存と活用の方針を定めた「史跡新町支石墓群保存活用計画」を策定した。史跡整備に関しては、地元住民からの要望も高く、また、学校教育・生涯学習・観光などの分野で活用するためにも早急に事業に着手する必要がある。							
事業期間	令和3年度～令和7年度(5年間)		会計種類	一般会計							
総事業費	177,300	千円	(うち市予算化分) 177,300	千円	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	款	項	目	10	4	5
款	項	目									
10	4	5									
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円							
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値					
市民	国史跡が整備されることで史跡の歴史的価値が理解されるようになる	活動指標	新町支石墓群の史跡公園化の完了	0	0	1					
		成果指標	-	-	-	-					

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金		2,350	4,600	6,950
	県支出金		300	300	600
	地方債				0
	その他				0
	一般財源(a)		2,050	4,300	6,350
事業費(A)		0	4,700	9,200	13,900
主な事業費内訳			委託料、報償費、旅費	委託料、報償費、旅費	
従事職員数(人)			0.4	0.4	平均人件費 8,700
人件費(B)		0	3,480	3,480	人件費割合(%) 33.4
総コスト(A+B)		0	8,180	12,680	総コスト計 20,860
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税 措置率等
国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)			50%
県支出金	福岡県文化財保護事業補助金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱			15% (限度額300千円)

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	伊都国歴史遺産活用事業		担当部課	教育部	文化課	
事業目的	「伊都国」の歴史・文化の魅力を周知化し、糸島市のシティプロモーションのために、講演会・シンポジウムを開催する。本事業をとおして郷土愛の育成とともに、糸島市の観光PR・定住化促進の一助としたい。		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	糸島市内に8か所の国指定史跡が点在しているが、それらをテーマごとに分けて、3～5年間かけて実施する。いずれにおいても地元の小学生による対象史跡の学習発表を行い、識者による講演会・シンポジウムを開催する。あわせて、教材としても活用できる史跡に関する資料を作成する。主たる経費は講師への報償費、旅費、広報物作成のための印刷製本費、模型・映像資料作成のための委託費を計上している。		進捗状況・現状	当該事業は国庫補助事業(総事業費の50%補助)を使用するもので、現在、申請等の準備中である。		
事業期間	令和2年度～令和4年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	6,000	千円	(うち市予算化分)	6,000	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円		-	千円	
			予算科目	款	項	目
				10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値
市民、国民、文化財愛好者	市内外に糸島の歴史・文化の魅力を発信できる。	活動指標	イベントの開催(回)	0	1	3
		成果指標	イベント参加者数(人)	0	300	1,000

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	1,000	1,000	1,000	3,000	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,000			1,000	
	一般財源(a)		1,000	1,000	2,000	
事業費(A)		2,000	2,000	2,000	6,000	
主な事業費内訳		報償費、旅費、委託料、印刷製本費	報償費、旅費、委託料、印刷製本費	報償費、旅費、委託料、印刷製本費		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%)	68.5
総コスト(A+B)		6,350	6,350	6,350	総コスト計	19,050
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費補助金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱			50%	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑪文化施設を整備し、文化・芸術活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	伊都文化会館音響設備等更新事業			担当部課	教育部	文化課		
事業目的	文化会館の根幹となる音響機器の更新を行うことで、安定的な音響サービス向上を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	文化・芸術活動の拠点である伊都文化会館は、竣工30年以上が経過し、大ホールの音響施設の経年劣化が著しい。また、音響卓にも既に不具合が生じていることから、ホールの心臓部である音響卓等の更新をリース契約として対応する。 【リース機器】 音響卓等、コントロールモニタースピーカー パッチパネル架、インターカム装置			進捗状況 ・ 現状	令和元年12月リース機器導入 【リース期間】 60か月 (令和2年1月～令和6年12月)			
事業期間	令和元年度～令和6年度(6年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	21,506	千円	(うち市予算化分) 21,506	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	21,626	千円	21,626	千円		10	4	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	安定的な音響サービスの享受	活動指標	音響装置更新(リース)(%)		0	33.3	100	
		成果指標	安定的な音響サービスの提供(%)		0	100	100	

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	4,301	4,301	4,301	12,903	
事業費(A)		4,301	4,301	4,301	12,903	
主な事業費内訳		リース	リース	リース		
従事職員数(人)		0.4	0.4	0.4	平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	3,480	3,480	人件費割合(%)	44.7
総コスト(A+B)		7,781	7,781	7,781	総コスト計	23,343
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(6) 九州大学との交流の推進都市機能の充実
施策	⑫大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	九州大学を生かした地域づくりプロジェクト、子育て支援プロジェクト

【事業の内容について】

事業名	九大寺子屋事業		担当部課	企画部	ブランド・学研都市推進課	
事業目的	九大生が学んでいることを分かりやすく児童に教えることで、児童の学習意欲の向上を図ること。 (副次的:児童の将来の夢の創造、九大生への憧れの喚起、郷土愛の醸成、子育て世代の移住促進)		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	○九大生が市内小学校に出向き、本人が学ぶことを分かりやすく児童に教える。 ○市内小学校で実施(5年生対象、原則土曜授業)。 ○九大生に謝礼と交通費を合わせた諸謝礼を支給。授業に必要な消耗品(実験グッズ等)も支給する。 ○九大生は、寺子屋本番のみならず、事前ミーティング、事後反省会を重ね、より良い授業づくりを心掛ける。		進捗状況・現状	○H27～H29は糸島地域広域連携プロジェクト推進会議主催で実施。H30から市主催となる。 ○児童、保護者、学校から一定の評価あり。 ○質の高い九大生の確保と継続性、全市的な広がり、事務負担(マンパワー不足)が課題。		
事業期間	平成30年度～令和2年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	5,420	千円	(うち市予算化分)	5,420	千円	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	5,612	千円		5,612	千円	
予算科目	2		1		7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値
市内の児童	学習意欲の向上	活動指標	九大寺子屋の実施校(累計:校)	8	15	16
		成果指標	勉強をして、面白い、とても楽しいと思う児童の割合(%)	0	80	80

【事業費について】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
財源内訳	国庫支出金	1,214			1,214
	県支出金				0
	地方債				0
	その他	1,218			1,218
	一般財源(a)				0
事業費(A)		2,432	0	0	2,432
主な事業費内訳		諸謝礼、事前協議の諸謝礼、教材費・消耗品費、会計年度任用職員賃金			
従事職員数(人)		0.2			平均人件費 8,700
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%) 41.7
総コスト(A+B)		4,172	0	0	総コスト計 4,172
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫支出金	地方創生推進交付金	地域再生法			50%
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例			